



## クラウド IoT サービス活用事例 エレコム株式会社が提供する 「クラウド型 NAS 状態管理サービス NAS みる」を構築

IT 周辺機器トップメーカーのエレコム株式会社様は、クラウド型 NAS 状態管理サービス「NAS みる」の提供を 2017 年 6 月より開始しました。「NAS みる」はエレコム製 NAS 製品「NSB シリーズ」の運用負荷を軽減するクラウドサービスです。システム管理者は「NAS みる」を利用することにより、NAS の稼働データをインターネット経由で収集し、NAS の状態を把握、管理することができます。キッセイコムテックは本サービスのクラウド機能の開発を担当し、あるパブリッククラウドの IoT サービス機能をフル活用することで本サービスの実現を支援しました。

### ▶▶お客様プロフィール



#### エレコム株式会社

**本社** 大阪府大阪市中央区伏見町4-1-1  
**設立** 1986年5月  
**従業員数** 557名  
 その他、契約社員・パート社員216名  
 (2018年3月31日現在)  
**事業内容** PCおよびデジタル機器関連製品の開発・製造・販売

### お客様の課題

#### インターネット経由でNASの状態管理を可能とするクラウドサービスの提供

1986年の創業以来、マウスやキーボードなどの入力デバイス製品、各種アクセサリや用紙ラベルなどのサプライ製品のメーカーとしてビジネスを展開してきたエレコム。近年はスマートフォンやタブレット向けのサプライ製品、無線 LAN ルーターやアクセスポイントなどのネットワーク製品にも力を入れ、コンシューマー製品から法人向け製品、通信サービスの提供まで事業領域を広げてきました。

そんなエレコムの主力製品の一つに、法人向け NAS 製品「NSB シリーズ」があります。

「当社の NSB シリーズは中堅・中小企業を中心に、大企業の部門単位や多拠点展開企業の各拠点単位にも導入されることが多い NAS 製品です。小規模オフィスや部門サーバーに最適な Linux NAS、中～大規模オフィスにも対応できる Windows NAS の両方をラインアップし、ファイルサーバーやバックアップストレージとして広く利用されています」(エレコム 商品開発部 ネットワーク課 コーポレート NW 開発チーム 課長代理 谷川篤氏)

ホットスワップ対応の RAID 機能、ディスク暗号化機能といった高度なデータ保護機能を備え、オンサイト保守サービスなど手厚いサポート体制も用意し、導入企業の満足度も高い NSB シリーズですが、谷川氏によるとさらなる顧客満足度向上のために解決したい課題があったそうです。それは、NSB シリーズの運用に欠かせない管理ツールでした。

「NSB シリーズのこれまでの管理ツールは、NAS を 1 台ずつ管理するというものでした。また障害が発生した際、遠隔からは状況がわからず、エンジニアが設置場所に行かなければわからないこともありました。当社製品を取り扱う販売パートナーからも『複数台の NAS をインターネット経由で一元管理できるサービスが欲しい』という声が上がリ、新しい管理ツールに刷新することが長年の懸案事項でした」(谷川氏)

### 開発プロジェクトスタート

#### 実現性が高いクラウド技術提案のキッセイコムテックを選定

このような課題を解決するため、エレコムでは 2016 年夏、新サービスを開発するためのプロジェクトを立ち上げました。

「新サービスはシステム管理者の負荷と運用管理コストを軽減するために、管理サーバーを用意してメンテナンスするようなオンプレミス型のツールではなく、クラウドサービスとして提供することを目指しました。クラウドサービスならば、複数拠点に散在する NAS の情報をインターネット経由で収集し、場所を問わずに管理することができます。プロジェクトではクラウド型 NAS 管理ツールの要件を RFP (提案依頼書) にまとめ、複数のソフトウェア開発ベンダーに声をかけて開発の提案を受けることにしました」(エレコム 商品開発部 ネットワーク課 コーポレート NW 開発チーム 北原宏幸氏)

声を掛けたソフトウェア開発ベンダーの中からエレコムが開発委託先として選んだのは、キッセイコムテックでした。



クラウド型 NAS 状態管理サービス「NASみる」



「キッセイコムテックはエレコムグループ企業のお他システムの構築・運用保守も担当していました。その経緯から提案を依頼したのですが、同社の提案内容は実現性が高く、堅実な提案書にまとめてくれました。とくに NAS の稼働データをインターネット経由でパブリッククラウドにアップロードし、そのクラウドの技術を活用してデータの集約・管理を実現する仕組みの技術提案が優れていたことから、キッセイコムテックに開発を委託することにしました」（北原氏）

こうしてクラウド型 NAS 状態管理サービス「NASみる」の開発が 2016 年末にスタートしました。それから約半年後の 2017 年 6 月のリリースを目指し、「NASみる」の開発は急ピッチで進められました。

### リリース後の効果

#### NAS を導入するお客様から高い評価 エレコム NAS 製品の認知度アップに貢献

「NASみる」開発にあたりキッセイコムテックでは、要件定義から設計・開発、稼働後の運用・保守を含め、キッセイコムテックのワンストップサービスによりエレコムのプロジェクトを支援しました。

「当社ではシステム管理者の運用管理性を高めるため、CPU / メモリの負荷状況やディスク / ネットワーク利用状況をわかりやすい統計グラフで表示したり、障害発生の予兆を把握できるように通知イベントロ



エレコム株式会社  
商品開発部 ネットワーク課  
コーポレート NW 開発チーム  
課長代理  
谷川 篤 氏



エレコム株式会社  
商品開発部 ネットワーク課  
コーポレート NW 開発チーム  
スーパーバイザー  
蟹江 康誠 氏



エレコム株式会社  
商品開発部 ネットワーク課  
コーポレート NW 開発チーム  
北原 宏幸 氏

グの重要な異常検知情報をカラー表示で注意喚起したりといった“見た目”と“操作性”にこだわりました。NAS のインターネット経由での稼働データ収集という基盤構築のほか、利用者の満足度に直結する機能要件にも確実に応え、キッセイコムテックは約半年という非常にタイトなスケジュールの中で開発してくれました。短い期間でスピード感を持って予定通りに提供を開始できたことが、キッセイコムテックに開発を委託した最大の成果だと思っています」（エレコム 商品開発部 ネットワーク課 コーポレート NW 開発チーム スーパーバイザー 蟹江康誠氏）

こうして 2017 年 6 月、NSB シリーズの導入企業向けに無償で提供を開始した NASみるは、企業のシステム管理担当者や販売パートナーから大きな評価を得ているとのことでした。

「複数拠点・複数台の NAS の稼働データを Web ブラウザで確認しながら障害発生の前兆がつかめるだけでなく、トラブル時の対応方法を的確に案内するトラブル対処ガイドランスも用意しているので、お客様からは非常にわかりやすいという高い評価を得ています。また「NASみる」の存在を知って、エレコムの NAS 製品を選ぶお客様もおり、当社の NAS 製品の認知度アップにも貢献しています」（蟹江氏）

### 今後の展開

#### さらなるサービス拡充と 販売パートナー向け機能の実装を予定

「NASみる」の提供を開始して 1 年以上が経過し、エレコムでは次の施策も検討しています。

「NAS の稼働データがクラウド上に大量に蓄積できてきたため、そのデータを分析・活用して故障予測を実現するなどのサービス拡充を予定しています。また販売パートナー向けや大規模ユーザー向けに、大量の NAS を効率良く管理するための機能なども実装していきたいと考えています」（谷川氏）

今後、さらに進化するエレコムの「NASみる」。その開発を、キッセイコムテックは今後も強力に支援していきます。